

障害児者が楽しく水上散歩

豊橋「さくらピア」初のカヤック体験

愛大が協力

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」の屋上プールで12日、初の試みとして「カヤック体験会」が開かれた。抽選で選ばれた障害のある8〜38歳の12人が水上の散策を楽しんだ。

【田中博子】

障害児者の余暇支援事業として企画。スポーツ工学などを専門とし、障害児スポーツなどにも携わる愛知大学地域政策学部教授の湯川治敏さんがさくらピアを訪れた際、「水に関係することでお手伝いしたい」と申し出たことで実現した。

3人ずつ4回に分けて体験。午前10時からの1回目には、渡邊翔央さん(21)、小武滉さん(14)、久米正太さん(12)が参加。全員本人が希望し、楽しみにしていたという。

湯川さんから説明を受けた後、カヤックに乗り

込み水上へ。湯川さんのゼミ生らの支援を受けながら、自分の進みたい方向に向かって頑張ってパドルを動かした。途中転覆しても笑顔で「楽しい」とプールサイドに上がり、果敢に再チャレンジ。保護者らも「またぜひ参加したい」と喜んでいたり。湯川さんは「簡単に自分で動かして進める。一人でこのことで自立心を育てることもつながる。ゼミ生もサポートを通して気配りができる優しい学生になることを期待している。今後も続けたい」と語った。

カヤック体験をする参加者―さくらピアで

